

あたって ご挨拶



東通村長
越善靖夫

新年明けましておめでとうございます。平成二十八年の新春にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

村民の皆様には、平素から村政の各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、政府は、昨年末に消費税の軽減税率の対象品目決定の他、地球温暖化対策やT・P・P等、国内外の社会環境の整備を推進しておりますが、何といたしても、地域経済と景気の回復、原子力発電所の事故処理と復興、再稼働の進展が望まれません。

東通原子力発電所東北電力1号機につきましては、平成二十三年二月より、第四回目の定期検査のために停止し、現在も原子炉は停止中であります。既に、東日本大震災から四年九か月以上が経過しているにも関わらず、今後の審査終了の具体的な見通しは、未だに示されていない状況となっております。

原子力規制委員会に対しては、厳格、公正な審査はもちろん、事業者との適切な対話を行い、より一層の迅速化をお願いするとともに、事業者においても、審査への対応に全力を挙げて取り組むとともに、規制当局に対して、毅然として対応すべきであると考えているところであります。

一方、東京電力1号機については、平成二十三年一月に、本体工事を開始しておりますが、福島第一原子力発電所の事故への対応を最優先するため、一部の作業を除き、本格工事の開始を見合わせているところであります。

この両電力の状況は、当村の行財政はもちろん地域経済への影響が顕著に表れ、非常に懸念しているところであり、昨年八月には、議会とともに、両電力に対して、早期の再稼働、早期の工事の再開について強く要望致しました。

国においては、現状を十分に見極めながら、冷静に議論を深め、早期に、日本の工

ネルギーの具体的な方向性について、明確化していく必要があるものと認識しております。

私としては、資源小国である日本において、エネルギーの安全保障、地球環境問題等の課題を解決しつつ、現在の日本経済や生活を維持していくために、再生可能エネルギーや省エネルギーの積極的な推進はもちろん、現時点においても、原子力発電の必要性や重要性は変化するものではないと認識しているところであり、これらの推移を踏まえながら、対応していかねばならないと考えております。

当村は、昭和四十年の村議会誘致決議以来、半世紀にわたって、国や事業者との信頼関係のもと、一貫して原子力政策に對して、全面的に協力してきたところであり、より一層の安全確保を大前提として、原子力発電所との共生による村づくりを進めて参る所存であり、引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りたいと存じます。

こうした中、我が村の第一次産業では、農業は、春の田植えは気温の影響も少なく作業を終えられ、その後は、冷害も直接的な台風被害もなく、また、好天等に恵まれたこともあり、田植え後の生育が順調で、八月、九月は雨が多かったものの平年を上回る、作況指数百五の豊作となったほか、米価についても、飼料用米等への転換により需給調整が進み、上昇傾向で推移致しました。

又、大豆、野菜については、平年並み、そばは八月、九月の雨の影響により平年を大きく下回っております。畜産業は、口蹄疫などの伝染病の影響は依然心配されておりますが、子牛及び枝肉価格とも昨年引き続き高値で推移し、今後もしばらくは高値が続く見通しであります。

一方、漁業においては、漁船燃油や資材の高騰など、依然として厳しい状況下にあります。村の主力のイカ釣り漁は、海水温の影響で低迷し、野牛漁協では十一

月以降回復し平年以上となりましたが、全体では、平年以下と同っており、今後の漁を期待するものであります。

サケ漁は、白糠漁協、小田野沢漁協では平年以上となっているものの、村全体では平年以下となっております。魚価は高めに推移しており、イカ釣り同様、今後の豊漁に期待するものであります。

ヒラメとマダコは、数量金額とも大幅に落ち込んでおり、厳しい状況となりました。心配されましたホタテ漁は、石持・野牛漁協ともに例年程度の水揚げとなり、一昨年は自粛した産地直送販売も申し込みに応じて実施されたと伺っております。

サクラマスは、数量、金額とも半分程度に落ち込んでおり、大変危惧しております。また、コソブの成育が良好なことから豊漁で、他魚種の落ち込みをカバーしている漁協もあり、安堵していると伺っております。このような漁であります。基幹産業である漁業の生産力向上を目指して、漁場環境の改善を図り、併せて、村の海域特性を生かした「つくり育てる漁業」のなご一層の推進を図っております。水産資源の減少に加え、魚価の低迷、燃油や資材の高騰など、沿岸漁業を取り巻く情勢は、依然として厳しいものがありますが、魅力のある漁業、活力ある漁村となるよう、サクラマスの稚魚放流など、引き続き振興対策事業を展開して参りますので、改めて、ご理解、ご協力をお願い致します。

この様に、地元経済、行財政運営も厳しい状況であります。行政課題を着実に解決しながら、将来を見据えた村づくりに努め、基幹産業である第一次産業の振興・発展のため、漁港・漁場、道路等の充実を図るとともに、教育、福祉、医療を重点的に推進しております。教育に関しては、東通村教育大綱と整合しながら一貫教育を充実して参ります。福祉については、包括的ケアシステムを進め、村民の健康増進に努めなければなりません。

道路整備については、村道の維持管理に努めるとともに、白糠バイパスの老舗工区の進捗も図って参ります。大震災の教訓を踏まえ、原子力防災、津波に対する防災体制の整備促進を図っております。また、去る十月二十九日付で、「東通村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び、今後五年の目標や施策の基本的方向並びに具体的な施策をまとめた「東通村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

戦略の中で、特に、健康増進事業の取り組みとして、男性の平均寿命の全国ワースト五位からの脱却を目指して、五年以内の健診受診率百パーセントを掲げております。二月には、健康づくり推進大会の中で「健康宣言」することとしており、村民挙げての健康意識の更なる向上を目指して参りますので、地域の皆様の参加も含めて、事業の推進にご協力をお願い申し上げます。

また、定住や移住の受け皿となる、東通村定住促進住宅用地「ひとみの里」の分譲は、これまでになく思い切った販売戦略を以て、人口流失をくい止め、更に、定住及び移住者の受け入れによる人口増加と中心地のまちづくりを進めて参りますので、ご理解、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

東通原子力発電所の運転再開と工事再開の時期が明確となつておらず、非常に厳しい経済環境、行財政状況は続きますが、私としては、今、この難局を乗り越え、将来の東通村の基盤をしっかりとしたものに整え、将来にわたって村民が東通村に誇りを持って頂くよう、皆様と共に行政を進めていかなければならないと思っておりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

村民の皆様のご多幸を心よりご祈念申し上げまして、新年に当たってのご挨拶といたします。